まい　あーと■版画「フランスの人」by 氷見富士子

MADE IN EKUTEBIAN

メード・イン・えくてびあん 2

チリパウダー、ターメリック…。30種ものスパイスがブレンドされたルーは中西さんご夫妻の特製。

次々と出来上がるミートボール。さすがは女の子だネ。

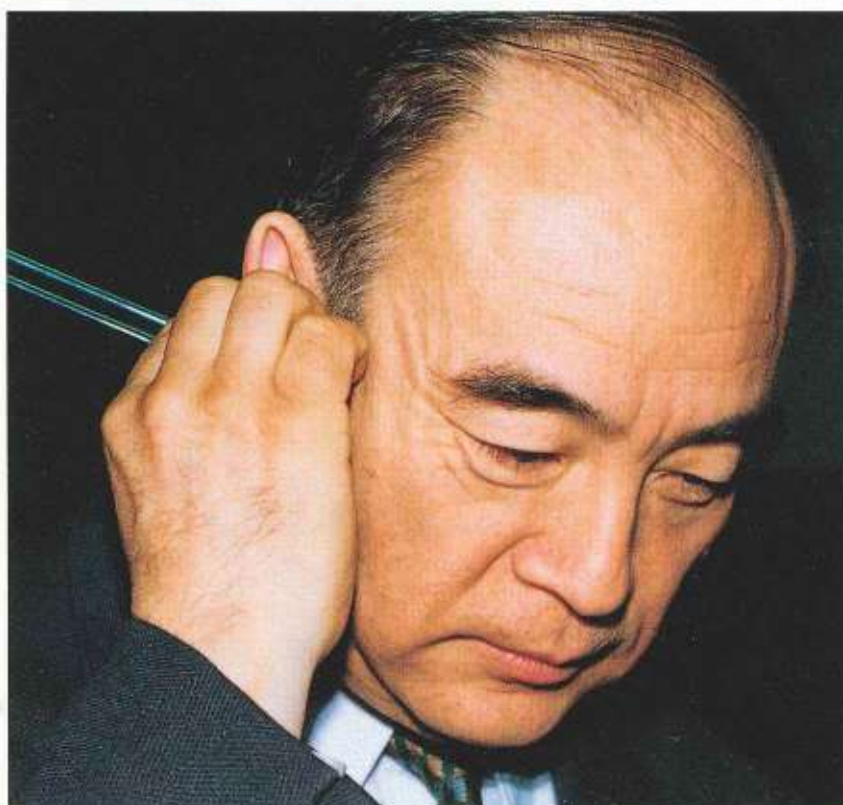
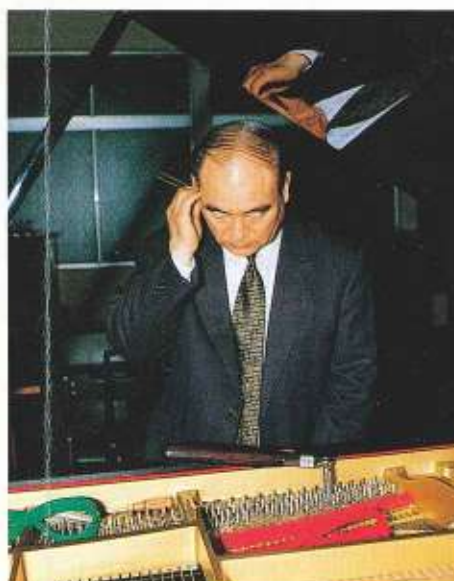
完成／左がミートボールカレー。右がチキンカレー。デザートはスリランカに生えるパームの樹液をかけたヨーグルト。これまた絶品。

「美味しいヨ」がログセのご主人、ダーサさん。特製スパイスをお求めの方は、0425(67)4641に電話をください、とのこと。

とある日曜日。作曲家、つのごうじさん（上砂町）のお宅に集まったこどもたちと本場スリランカのカレー作りに挑戦した。ご主人がスリランカ出身である中西さんご夫妻のご指導のもと、大騒ぎの末にようやく完成した2種類のカレー。お味の方も大満足。そしておかわり続出。インスタントやレトルトの味しか知らなかったこどもたち。どうだい、みんな。本物ってちがうだろ？

上砂町のこどもたちと本格カレーをたのしむ

吉田偉佐男さん(54)

■国立音楽大学調律科講師

U字型の音叉（おんさ）の響きを頼りに、狂った弦に生じる「うなり」を静める。若き日にウィーンの楽器工場でピアノの構造から学び、この道28年。まず、演奏者の為に。そして演奏が進み、拍手喝采で幕を閉じ、吉田さんはここで初めて胸をなでおろす。

えくてびあんレポート

耳がモノを言う

厳しい修練や経験によって持ち得た、非凡な耳
人知れず、私たちに豊かさや安心を与えてくれる、技ある耳
3月3日「みみ」の日は、“聴こえる”ということ
そして、耳のはたらきを見つめ直す
絶好の機会にちがいありません。

ライフライン、水の道を守って40年。棒状音調器と呼ばれる鉄の棒で、水漏れ箇所を瞬時に判別、大事を防ぐ。ハイテク機器の導入でこの技（わざ）を使う人は少なくなったが、正確さ、対応の早さにおいて、まだまだ機械は小島さんの耳を追い越せない。

安全をまもりつづける耳

小島 勝利さん(57)

■立川市役所水道部

若山喜志子

建立地　立川市福祉会館前　詩歌のみち水源付近

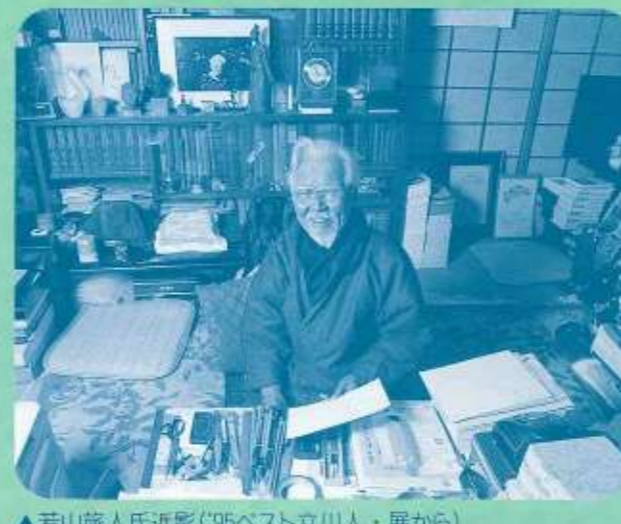
「父が『家中の抽出しを探しても一銭の金も無い』と詠った当時ですら、家計がそれ程逼迫しているとは私には夢にも思わぬ処だった。それが、父に従う母の努力による一家の暖かさだったと追懐する事が、私の生涯で得た重要な財宝だったと思う」

長男、若山旅人は著書『白い霧』で、母の人柄をこう綴る。

昭和三年、夫牧水の死去により主宰誌『創作』を継承。以来、昭和四十三年八月、八十一才で亡くなるまで、喜志子の人生は歌人として、そして妻として、夫の遺誌を守り続けることにあった。

北口の牧水歌碑。駅をはさんで街の南に、喜志子の碑は建つ。

街は詩情に包まれることになる。

4月。3つの歌碑が建ちます。

北口駅前に若山牧水歌碑。
根川のほとりに中村草田男句碑。
そして今年4月、立川市文化協会の尽力により、新たに3つもの文学碑が建ちます。
若山喜志子。若山旅人。八木下禎治。
三十一文字の世界をもって、この街に「歌ごころ」を植えつけた三歌人。
さくらの花びら舞う頃、
詩歌のみちに現わる3つの碑。
今年の立川は、
詩情あふれる4月になりそうです。

▲若山旅人氏近影（'95ベスト立川人・展から）

若山　旅人

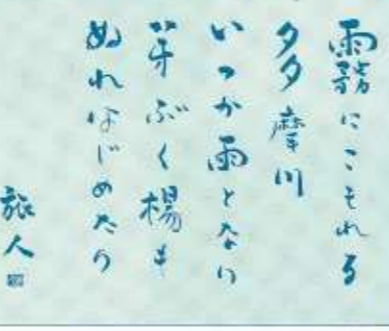
建立地　立川公園内　菖蒲園・入口

歌人・若山旅人の誕生は還暦の齢であった。

大正二年。父牧水、母喜志子の長子として出生。父と同じ道をたどる事を嫌った旅人は、その天性の絵心をもって建築家の道へ。学習院講堂、銀座木村屋総本店など数々の建築物を設計。一級建築士として大を成す。

しかし運命とは数奇なもの。母喜志子の死を機に『創作』の後継問題に直面した旅人は、苦慮呻吟の末、約束された建築家としての生活を捨て『創作』主宰を継承。昭和四十七年、秋のことだった。

血は争えぬもの。その後、裡に秘めた叙情は噴出する。

いまや日本歌壇の重鎮。現在も、富士見町二丁目に健在である。

八木下禎治

建立地　市営野球場前　根川緑道

昭和五〇年に著した歌集『基地立川』で詠んだ基地を中心に推移する街の憂い。「過去の無視は、現在のみの点となってしまう。過去とつながらない点は未来ともつながらない」と、その立脚点は常に「立川人」としての想いだった。

若山喜志子を助け『創作』編集に参加する傍ら、市民文化の向上に尽力。立川市文化連盟の生みの親。歌誌『たちかわ』主宰。

小誌発行『われら立川人』中の追悼特集で、谷川水車氏は八木下氏に向け、「立川の文化はのろしを上げても三年ももたないところ、あなたは文化興しの長距離ランナーでした」

昭和六十二年没後も『たちかわ』は続く。歌ごころは街に根付いた。

詩歌のみち 歌碑建立記念
短歌を募集します

さくらの名所、詩歌のみちを、あなたの歌ごころで詠ってみませんか。応募は官製はがきにお一人二首まで。金賞1名、銀賞2名、銅賞3名が選ばれます。

■審査員／若山旅人、谷川水車、木村賢一郎、野村吉茂
■応募先／立川市柴崎町4－15－4　立川連合短歌会　野村吉茂宛
■締切り／3月31日
■入賞者には4月14日の歌碑除幕式にて表彰、記念品が贈られます。
■主催／立川市民俳句会　立川連合短歌会

真如苑だより

卒業の季節です。たくさんの友だち、たくさんの思い出。一抹のさびしさと、新たな希望を胸に巣立ったあの日。懐かしく思い出されます。

節目の月、三月。希望ふくらむ三月。春の日差しのなか、真如苑におこしください。ご一緒に静かなひとときを過ごしませんか。お待ちしております。

■日時　平成7年3月14日(火)　2時～4時
■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。
■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」（本誌を手渡してくれた人）へ。

町	店名	住所	電話
羽衣町	立川商店	羽衣町2-30	☎22-3565
羽衣町	みずほ弁当	羽衣町2-3	☎22-9597
羽衣町	赤松タバコ店	羽衣町2-42	☎24-7852
羽衣町	中島豆腐店	羽衣町2-12-34	☎22-5723
羽衣町	和風レストラン 蔦屋	羽衣町2-27-9	☎26-3698
栄町	ヤマザキデイリーストア 立川栄町店	栄町2-46-3	☎36-8285
栄町	永光薬局	栄町2-58-7	☎36-0206
栄町	カットハウス ボーグ	栄町2-59-8	☎36-6716
錦町	うちのやプルマン	錦町1-18-17	☎24-9280
錦町	美容室 アリス	錦町1-15-21	☎25-1100
錦町	coffee shop 遊香	錦町1-4-24	☎27-3840
錦町	ステーキのリブレ	錦町1-8-3	☎27-1630
錦町	そば青柳	錦町2-1-27	☎28-2345
錦町	TAPAS	錦町2-2-29	☎29-0733
錦町	三田花店	錦町2-5-23	☎24-4187
錦町	セガミ薬局	錦町2-7-8	☎25-9212
錦町	マルミヤスポーツ	錦町2-7-8	☎22-2912
錦町	そば高尾亭	錦町5-5-31	☎22-2710
幸町	BSタイヤショップ 佐藤商会	幸町5-10-2	☎37-0912
幸町	いなげや 立川幸店	幸町1-23-6	☎37-1820
幸町	ロッテリア 立川砂川9番店	幸町4-38	☎37-4413
高松町	立川文庫	高松町2-1-23	☎25-8617
高松町	横町屋菓子店	高松町2-11-23	☎22-2609
高松町	新藤青果店	高松町2-3-13	☎22-6443
高松町	スーパー やなぎや	高松町2-5	☎22-4322
高松町	フレンド書房	高松町3-18-2	☎27-1555
高松町	やきやき亭	高松町3-21-4	☎25-6658
高松町	CAFE-RESTAURANT TIP-TOP	高松町3-27-27	☎25-2030
砂川町	東京靴流通センター	砂川町1-50-4	☎37-3641
砂川町	JA経済センター 立川店	砂川町2-44-3	☎36-1824
砂川町	JA東京みどり 立川支店	砂川町2-44-3	☎36-1821
柴崎町	ビジネスホテル クボタ	柴崎町2-12-23	☎22-1122
柴崎町	中華料理 みよし	柴崎町2-10	☎25-3873
柴崎町	石原薬局	柴崎町2-10-3	☎23-4067
柴崎町	輪輪館	柴崎町2-12-17	☎22-8100
柴崎町	串揚げ割烹 トントン	柴崎町2-3-3	☎24-4521
柴崎町	寿司由	柴崎町2-2-8	☎22-3733
柴崎町	ブティック リッチ	柴崎町2-3-10	☎28-2054
柴崎町	キャノン01ショップ	柴崎町2-3-6	☎28-1501
柴崎町	マイシティハウス 立川南口支店	柴崎町2-3-6	☎26-0148
柴崎町	カフェレストラン ほまれ屋	柴崎町2-4-15	☎26-2232
柴崎町	ファッションハウス ほまれ屋	柴崎町2-4-15	☎25-2788

街を歩けば

中高年服飾研究家　森　淑

立川は欅の美しい街である。

すくすくと、天に向かってのびている姿も美しいし、小枝の先の先まで繊細に分かれ、美しい細工物を見る感じもうれしい。秋は風に吹かれて舞い散る落葉も何とも風情がある。

立川から鎌倉へ移って八年ぐらいでしょうか。久しぶりに立川の街を歩いてみる。

娘が音楽大学に入学して、住みなれた都会にさよならをして立川に来た時、砂川七番という標識を目にして、一瞬、気が遠くなる思いをしたことを思い出しました。もう何年たったのでしょうか、砂川事件で新聞がにぎわっていたのは。あの「砂川」なの？　まさか。こんなに遠くへ引っ越して来て私はどうなるんでしょう。など、いろいろな思いが駆けめぐって心細かった。

立川は私の七十年近い人生の中で、最も熟した年代であったし、深く心に残る街であり、また忘れ難い方々との出会いの街でもあります。

娘時代から夢みていた、中高年のためのファッションショーを実現出来たのもこの立川である。立川の女性は、何となく温かい大地のような感じがして純であった。海綿が水を吸うように新しい感覚を吸収して、みるみる美しくなられるのを私は感動して眺めた。

朝日タウンズの中込さんにお会いしたのはその頃であった。聡明な女性で、北京でのショーにも同行してくださり、いつも温かく協力していただき忘れられない方である。

それからショーのモデルを快く引き受けてくださいました奥様方の愛情も忘れられない。

えくてびあんの山田五郎さんにお会いしたのもその頃で、何とも摩訶不思議な個性のある方であった。おつきあいの深まる毎に、その才能に目を見張る思いがした。異性とも同性ともつかず、友人とも言えないような高い所にいらっしゃるかと思うと、小さいこどもの様に私に笑われることもしばしばで、あれからもう十年、久しぶりでお会いしても昨日も会ったような、昨日お会いしてもしばらく会っていなかったような不思議なおつきあいをしていただいている。

急速に発展していくこの立川の街の中で、かくれた才能の方々をつぎつぎと『立川人・展』へ送り出し、街の発展に尽くしていらっしゃる仕事ぶりに頭が下がる思いをしている。

いろいろな仕事や人を思い起こしながら、玉川上水へ出る。遠くの方に国立音楽大学の大きな校舎が見える。夕陽のかすかに残る空を背景にして美しく、そして何となく悲しい。今は亡き児玉勝己さんの「天使の音楽」、ハンドベルの音が聞こえてくるような。傷つきやすい人に特有な愛想のいい笑顔を思い浮かべる。楽しい会話のひとときもあった。

一時半に立川へ降り立ってから、もう六時半。五時間も歩きまわっても思い出は尽きない。工事の音も高らかに街はひらけていくけれど、あの土の匂いはなくさないでほしい街である。

えくてびあんの輪

人がゐて、街があります。
あなたがゐて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にはいつでも えくてびあん！

ウォッチング
元文2年の流し台

ふと路端をみると、川とも下水ともつかない堀のような溝が続いている(写真右)。さらにその溝から、地面に昇る石の踊り場のようなものがあちこちに(写真左)。富士見町、柴崎町あたりに多く見られるこの溝「柴崎分水」は、いにしえの水道跡である。各戸の前に造られたこの踊り場は、当時の「流し台」といったところか。今でも初夏には水が流れ、利用している家もあるという。二百年も前のものが、路端に平気な顔して残っている。いいなあ。

WATCHING

東風

森淑さんとはじめてお会いしたのは立川市民会館（今の「アミューたちかわ」）で、素人の奥様方がモデルになって次々とステージにあらわれる。それも若奥様は一人もいない、「元若奥様」ばかりという、風変わりなファッションショーであった◆次から次に登場するモデルが着ている洋服は全部、森さんのデザイン、縫製によるものだから膨大なものである。しかも四十歳以上のご婦人しか診ない。若い人は「そこらの洋服」で充分に美しい。齢に少しガタがきて、クセも強調される頃から本統のデザインがはじまるという「森哲学」は立川を中心に拡がりはじめていた。そして、この街だけでは器が小さすぎるのか、中国大陸でも迎えられ、ポストカードが大陸から工房へ届くようになった◆その頃は「えくてびあん」創刊間もなくて、「人」を捜して足が棒の毎日であった。森さんに初めて逢えた日は、嬉しくて一日中こころがポカポカしていた。やがてご主人の清さん、お嬢さんの奈緒ちゃんたちと家族ぐるみのお付き合いとなってきた頃、故あって鎌倉へ越されるという。私たちは驚き悲しんだが、よく鎌倉へ招んで下さったし、「えくてびあんパーティー」を開けば、遠路厭わず来て下さる◆今月のエッセーを読んで、森さんとの「小さな歴史」が蘇った。彼女はいつも「立川人」だ◆デザイナーの玄関に壺　桃の花。

（編集）池田隆男　牛田彰一　小杉和己　小林康史　隅川 理　名尾居真　中村絵里　岩井正弘　町田健一　山田恵子
（写真）天野武男　板橋一明　井上義治　スタジオ259　中村 伸　五来孝平

表紙は語る
まい あーと　版画「フランスの人」by 氷見富士子

氷見さんの表現は油絵、水彩、版画と多岐にわたるが、その信条は「あくまでもデッサン」。人物のデッサンを完璧にこなすことで初めて表現が出来るという。「デッサンで人物が描けるようになれば、ようやく花が描ける。花はむづかしいんですよ」。門外漢にはわかる術のない言葉だが、ただ、シンプルな線の強弱が醸し出す、独特の質感。どことなく憂いをたたえた表情のこの「フランスの人」を見れば、なるほどとうなづける。

シルクスクリーンで着色したこの版画は、かつてフランスを遊学中に描いたクロッキーデッサンがモチーフ。「ごく自然に、なんの気構えもなく」描いたにも関らず、この作品、その後フランスの「サロン・ド・ドンヌ」に入選。本人がいちばん驚いた。

富山県にある氷見さんのご実家は、大自然の美しさに恵まれ、その風景を求めて、若い画家たちが出入りしていたという。そんな環境で育った氷見さんが今、美術の世界に生きているのは、ごく自然なこと。気負わず、ニュートラルに描き続ける氷見さんの作品、観るものの心に「ごく自然に」入ってきてしまう。

▶氷見富士子さん(右)。2月、アートサロン四季で開いた個展でお姉様といっしょに。

月刊えくてびあん　第128号
平成七年三月一日発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市曙町2-17-5
杉田ビル6F　〒190
電話　〇四二五(28)0082
FAX　〇四二五(28)1297
編集発行人　立井啓介
印刷所　㈱大廣社

町	店名	住所	電話
柴崎町	ぼだい樹	柴崎町2-4-18	☎28-0556
柴崎町	コマツホーム	柴崎町2-4-6	☎25-5811
柴崎町	喫茶 キャリー	柴崎町2-4-7	☎28-2630
柴崎町	かみゆい処 わ	柴崎町2-4-8	☎22-8202
柴崎町	芹沢ガラス店	柴崎町2-4-8	☎22-3065
柴崎町	小室園	柴崎町2-4-8	☎22-2894
柴崎町	立川ミロ画材	柴崎町2-4-9	☎22-6065
柴崎町	マエダ文具	柴崎町2-6-2	☎25-6584
柴崎町	くりや	柴崎町2-9-3	☎23-2590
柴崎町	立川高等技芸学院	柴崎町2-9-4	☎22-3424
柴崎町	ブックスしんあい	柴崎町3-1-1	☎27-6701
柴崎町	松山堂薬局	柴崎町3-13-25	☎22-2550
柴崎町	こむろ酒店	柴崎町3-14-3	☎22-2613
柴崎町	ゴンファノン・クボ 立川店	柴崎町3-4-2	☎27-7413
柴崎町	かつ亀	柴崎町3-5-2	☎25-7647
柴崎町	京樽 立川南口店	柴崎町3-6-2	☎21-4640
柴崎町	理容 ふなやま	柴崎町3-6-23	☎27-2780
柴崎町	多摩中央信用金庫 南口支店	柴崎町3-7-4	☎28-2211
柴崎町	酒処 喜泉	柴崎町3-7-6	☎24-0672
柴崎町	和光証券 立川支店	柴崎町3-8-2	☎24-1321
若葉町	紀ノ国屋 立川店	若葉町1-13-2	☎36-1604
若葉町	ふとんの 青木寝商	若葉町1-8-1	☎36-6833
若葉町	エッソ石油 けやき台ステーション	若葉町2-1	☎35-3081
若葉町	いなげや 若葉町店	若葉町3-21-1	☎37-4119
曙町	ルミネ立川店 1F受付	曙町2-1-1	☎27-1411
曙町	ルミネ立川店 2F受付	曙町2-1-1	☎27-1411
曙町	NTTテレコムプラザ立川	曙町2-1-1	☎27-4210
曙町	café バーゼル	曙町2-11	☎23-3746
曙町	パティスリー バーゼル	曙町2-11	☎23-3746
曙町	ロッテリア 立川ルミネ店	曙町2-1-1	☎24-7433
曙町	住友銀行 立川支店	曙町2-17-15	☎22-6171
曙町	喫茶 アバン	曙町2-17-15	☎27-4479
曙町	日の出屋 本店	曙町2-2-18	☎22-3308
曙町	第一デパート 2F旅行センター	曙町2-2-25	☎27-2021
曙町	富士銀行 立川支店	曙町2-4-6	☎24-3121
曙町	あら井鮨 総本店	曙町2-5-12	☎22-2957
曙町	二木のパン	曙町2-6	☎22-2278
曙町	三上鰹節店	曙町2-8-30	☎22-3259
曙町	ホワイトハウス フロム中武	曙町2-11-2	☎25-8558
曙町	ぱさーじゅ フロム中武	曙町2-11-2	☎22-1941
曙町	フロム中武 1F受付	曙町2-11-2	☎24-7111
曙町	ケンタッキーフライドチキン 立川支店	曙町2-12-16	☎28-2636
曙町	トポス 立川店	曙町2-18-18	☎25-0331
泉町	パットパットゴルフ	泉町	☎25-2340
富士見町	リーセントパークホテル	富士見町2-1-8	☎26-3111

わたしの玉手箱

4.富士見町・佐治博さんの「鉄道模型」

男の子は皆、機関車の運転手になりたかった。大人になった今でも、遠い路線の先を夢見て心の旅をする。掌に納まる真鍮の輝きと重量感が、今日も佐治さんを、心の旅に誘う。

▲上からC56型、国鉄8620型、C12型。真鍮の質感があたたかい。